

令和5年度 3年選択A「農業機械」シラバス

教科	農業	科目名	農業機械	2単位	対象生徒	3年
使用教科書 農業機械「実教出版」				科目担当：下地貴村		

1 科目の指導方針

- 農作業における農業機械の役割についてより深く学習します。
- 乗用トラクタの操作方法に慣れ様々な作業が自分一人で行えるようにします。
- バックホウ（ドラグショベル）の操作方法に慣れ、簡単な作業が行えるようにします。
- 車両系建設機械の資格が全員取れるように基礎的な知識を学習し、運転操作の練習を行います。
- ガス溶接の取り扱い方を習熟し、ガス溶接を使つての作品作りを行います。
- 安全教育の徹底をはかります。

2 学習の進め方や留意点

- 始業の合図とともに始まり、終業の合図で終われるよう時間のけじめをつけるようにします。
- 号令係を順番に割り当てます。座学時は号令と教室管理、実習時は整列と更衣室管理を行います。
- 座学時は授業終了後ノート提出し、検印を受けます。
- 実習時は実習服をきちんと着用し、安全帽、安全靴を身につけます。
- 特に実習中は指示を忠実に守り、自分勝手な行動は絶対にしないようにします。
- 実習時、前半後半のグループ、または2～3人グループに分かれて行動するときがあるので、協力心を忘れず教え合つて実習に望むようにします。

3 評価と成績について

- 次の4つの面から総合的に評価し、成績とします。

評価の4つの観点	内容
関心・意欲・態度	<ul style="list-style-type: none"> ・ノートをきちんととっている。（ノート点）毎回提出 ・授業中の態度（離席・おしやべり・悪ふざけの有無） ・座学や実習に積極的に取り組んでいるか
思考・判断	<ul style="list-style-type: none"> ・農業機械の操作時の安全面への配慮ができているか。
技能・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・実技テスト <li style="padding-left: 20px;">乗用トラクタ（耕耘・すき起こし作業、土運搬等） <li style="padding-left: 20px;">バックホウ（土の掘削、運搬作業）
知識・理解	<ul style="list-style-type: none"> ・定期テスト

4 学習計画

学期	月	指導事項	講義および学習内容	配当時間	学習のねらい
1	4	I 農業機械の役割	1 農業機械の意義 2 農業機械の利用と現状	4	農業機械が農家の暮らしとの関係性を理解する。
	5	II 農業機械の安全	1 農業機械の整備 2 アーク溶接の方法 アーク溶接の実際	1 2	農業機械の簡単な修理ができるようにする。アーク溶接資格取得のための事前学習をかねる。
	6 7	III トラクタ 歩行トラクタ	1 歩行用トラクタ 1) 種類 2) 操作 3) 構造と整備 歩行用トラクタの操作 ・耕転実習	1 6	歩行用トラクタの操作ができる。 ・エンジン始動ができる。 ・方向転換、後退などの操作ができる。 ・耕転ができる。
2	9 10 11	乗用トラクタ	2 乗用トラクタ 1) 種類 2) 基本運転と操作 3) 作業の安全確保 4) 構造と性能 5) トラクタの性能 6) 点検調整 乗用トラクタの操作 ・エンジンの始動・直進・後進 ・切り返し ・縦列駐車	2 0	乗用トラクタの操作ができる。 ・始動前の点検、運転中の安全確認ができる。 ・ローターを使っての耕転作業ができる。
	12	IV 原動機 内燃機関	1 燃料機関とその種類 2 4サイクルエンジン機関 1) 作動原理 2) 主要部の構造と性能 ・燃料系統 ・点火系統 ・冷却系統 ・潤滑系統	1 8	エンジンを分解し組み立てができる。 ・エンジン始動の確認 工具類の管理ができるようにする。 ・工具の名称を覚える。 ・工具の取り扱いが分かる。 ・工具の片付けができる。
	3	1 2 3	3 4サイクルディーゼル機関 1) 作動原理 2) 主要部の構造と機能 エンジンの分解と組み立て ・工具の点検 ・エンジンの分解方法 電動機 4 電動機 1) 電動機の動力源・回転原理 2) 誘導電動機（単相・三相） 3) 電動機の取り扱い		